**万博協力室**

**事務事業執行概要**

**総務グループ**

**１　室の庶務事務及び総務事務**

室の予算編成、経理、給与、物品、福利厚生及び一般庶務事項を掌り、当該事務の円滑な執行に努めた。

室内各グループの業務の総合調整を図り、円滑な事務執行を行った。

また、2025年大阪・関西万博推進特別委員会にかかる調整、ＢＩＥ（博覧会国際事務局）幹部はじめとする要人の受け入れ等を行い、円滑な事務執行に努めた。

**２　公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の関係事務**

「平成三十七年に開催される国際博覧会の準備及び運営のための必要な特別措置に関する法律（平成三十一年法律第十八号）」に基づき、2025年日本国際博覧会の準備・運営法人として指定された公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に対する人員派遣、会場建設費補助金交付、連絡調整などの関係事務を所掌し、当該事務の円滑な執行に努めた。

**３　大阪府万博推進本部の運営**

知事を本部長、副知事を副本部長に、万博の成功に向けて、関連する大阪府の施策を円滑に推進する全庁組織として平成30年度に設置した「大阪府万博推進本部」を開催し、万博にかかる動向や関連ビジョンの説明・意見交換等を行った。

**４　「万博の桜2025」の取組み**

大阪・関西万博への期待感や機運を高めることを目的に、建築家の安藤忠雄氏、大阪府知事等が呼びかけ人となり、府民・市民や企業の皆様から幅広く寄附やご協力をいただき、大阪府域の河川敷、公園や道路、学校などを中心に2025本の桜の植樹を実施するために「万博の桜2025実行委員会」を設立し、関係機関等に対して取組みの協力依頼等を行った。

**事業調整グループ**

**１　大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する検討**

　大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展の検討を進めるにあたり、様々な分野の有識者の方から幅広く意見を伺うため、大阪市と共同で「大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する有識者懇話会」を設置し、出展の方向性やその骨格をまとめる上で必要となる事項について意見交換を行った。

【大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する有識者懇話会委員等名簿】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏　名 | 職　名 |
| 委員（11名） | 東　博暢 | 株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル |
| 大西　流星 | 株式会社ジャニーズ事務所所属なにわ男子メンバー |
| 佐久間　洋司 | 大阪大学学生 人工知能研究会／AIR代表 |
| 澤田　裕二 | UG WORK 合同会社 代表／プロデューサー |
| 鈴木　裕子 | 株式会社Office musubi 代表取締役 |
| 巽　樹理 | 追手門学院大学 社会学部 准教授 |
| 遠山　正彌 | 地方独立行政法人大阪府立病院機構 理事長 |
| Nigel D.R.Simpson | 公益財団法人大阪観光局 大阪観光アドバイザー |
| 西澤　良記 | 公立大学法人大阪 理事長 |
| 橋爪　紳也 | 大阪府立大学 研究推進機構特別教授大阪府立大学 観光産業戦略研究所長 |
| 森下　竜一 | 大阪大学大学院医学系研究科 寄附講座教授 |
| 特別アドバイザー（3名） | 髙橋　政代 | 株式会社ビジョンケア 代表取締役社長 |
| つんく♂ | 音楽家、総合エンターテインメントプロデューサー |
| 山中　伸弥 | 京都大学iPS細胞研究所 所長／教授 |

※敬称略 50音順による

【大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する有識者懇話会開催経過】

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 議題 |
| 令和元年12月21日 | ・大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展について・意見交換 |
| 令和２年２月20日 | ・委員からの提案について・意見交換 |
| 令和２年３月31日 | ・委員からの提案について・出展テーマ・内容等の整理について・意見交換 |

**２　大阪・関西万博の開催に向けた機運醸成・情報発信の取組み**

大阪・関西万博の開催に向けて府民一人ひとりの参画意識や期待感など機運醸成を図るために、博覧会協会とも連携し、庁内部局をはじめ様々な主体が実施する各種のイベント開催機会を捉えＰＲ活動を展開した。

博覧会協会が実施した万博の新たなロゴマークの公募に際し、府内市町村や関西広域連合の構成府県市への協力要請や、東京都と連携し、首都圏での積極的な周知活動を行った。

　また、令和元年６月に大阪で実施されたＧ２０サミット開催期間中にインテックス大阪３号館に設置された「大阪・関西魅力発信スペース」内において、大阪・関西万博の開催を盛り上げるため、大阪市と共同で作成したプロモーション動画を放映したほか、ラグビーワールドカップの開催期間中に設置されたファンゾーン内でＰＲチラシを配布するなど、国際的なイベントの開催機会を捉え情報発信を行った。

**３　会場建設や関連事業の検討・調整**

万博関連事業である夢洲南エリアの追加埋立の実施に関して、大阪市、博覧会協会との協議を行った。

また、大阪市が事務局を担う「夢洲等まちづくり事業調整会議」において、博覧会協会やインフラ事業者などの関係機関とともにＩＲ事業も含めた工事調整を行った。

**４　交通アクセス検討**

博覧会協会が事務局を担う「来場者輸送計画検討会」において、国・府・市などの関係機関とともに、万博開催中の交通需要予測にもとづき、鉄道、自家用車、シャトルバスなどによる来場者の輸送計画の検討を行った。

また、万博関連事業である地下鉄中央線の延伸や万博開催中の輸送力の増強について、大阪市、大阪市高速電気軌道株式会社との協議を行った。

万博開催時の自動運転の導入可能性について、阪神高速道路株式会社とともに調査を実施した。